

## 黒石ラボ

2008年に設立された青山学院大学総合文化政策学部の一授業であるラボアトリエ実習の一つ。現在は1名の教授と8名の学生が在籍している。主に山形の新庄を舞台に、それぞれが持ったテーマについて考えながら実地的な活動をしている。

## ひとこと

先日の合宿でお世話になった皆さまにここで改めて感謝の気持ちを申し上げます。郷倉調査、旧蚕糸試験場調査、新庄フィールドワーク、そして最終日の発表は皆様の協力あってのものでした。本当にありがとうございました。

新庄 谷4-4 黒石研

編集・デザイン  
大友 綾香  
加藤 寛正  
永田 由香莉  
宮崎 豊

いち・に・さんし

Take Free



## ラボ長より

はじめまして。この雑誌を作った黒石ラボの代表を務めています、加藤です。私たちは青山学院の学生で、山形を舞台に都市と農村の交流、場を作る、パブリックアートと街づくりという3つのテーマについて研究しながら活動しております。今までには、伝統工芸を現代に生かしている方のお話やまちづくりをしている方の話を聞いたり、実際に活動をしている企画を調べたりしてテーマについての研究をしてきました。山形にも実際に3回足を運び、色々なことを学びました。青山と山形、とても距離があるために出来る活動は限られています。しかし、この距離があるからこそ出来る新しい発見や可能性があると思います。今回発行したこの雑誌では8月に行った合宿の活動についてまとめました。新しくメンバーも加わり活気の出たラボをどうぞよろしくお祈りします。

### 教授

黒石いずみ

通称：黒石先生

新庄の雪の里情報館を拠点に今和次郎の研究を長年行ってきた青山学院大学総合文化政策学部の教授。建築や都市、空間デザインなどの授業を行っている。おいしいものや楽しいことに目がないお茶目なおもしろい教授であり、母のように温かい方。

### 2年

加藤寛正 ラボ長

通称：カトー・カトちゃん

黒石ゼミを引っ張るイケメン長。パソコンに強く、ラボのホームページを作り上げた実力者。

大友綾香 副ラボ長

通称：オオトモ

北海道からやってきた。ラボの副ラボ長として、ラボ長を支えるしっかり者。雑誌の営業長の経験を生かして、ラボの雑誌も作り上げる。頼れる姉さん。

宮崎豊 渉外

通称：ユタカ、ユタボン

語りだすと熱いお兄さん。マニアックで、なにかつくるのが好き。写真撮影も模型作りもお任せ。お酒に弱いのが玉に瑕。

### 院生

板谷慎

通称：板谷さん・板やん

黒石先生を求め、総合文化政策学部の門を叩いた大学院生。年下の大学生ともテンションを合わせることができ、叱るところはちゃんと叱れるオ・ト・ナな男。

永田由香莉 会計

通称：エイ

お財布を握り、男の首も握る綺麗なお姉さん。

湯田真子

通称：マコちゃん、マコヤン

フワフワしたやわらかいオーラはみんなの癒し。

朝岡大貴

通称：タイキ

いつもニヤニヤ笑っている本人曰くこういう顔だそう。必ず酒を飲んで飲まれる男。彼の写し出す写真は、彼の趣向丸出しらしい。

### 1年

佐々木 捷

通称：サキ、ササやん(仮)。髪型はアフロ。まだ顔を見た事はないが、真面目そう！楽しみ！

## メンバー紹介



## ラボ長より

### 夏合宿概要

# 「郷倉」を知る

# 「旧蚕糸試験場」を知る

## 5月イベント

### メンバー紹介

### 夏合宿概要

私たちは山形(新庄)において一週間にもおよぶが合宿をしました。山形に残る“郷倉”と“蚕糸試験場”を見て、触れて、測り、地域の人々との交流を重ねてきました。

学びに学び、新庄は魅力にあふれていることを体感。

私たちはまだまだ無知だけれど、だからこそ見えてくるものも。

また、地元の人々は皆温かく、自炊をしていると知ればすぐに大切に育ててきた野菜やお米を運んでくださいました。メンバーの中も深まり、こんなに充実した合宿はなかなかないと思えました。スタート地点に立ったばかりですが、この勢いで頑張っていきます！